

平成26年 9 月 9 日

平成26年度病害虫発生予察注意報（第 4 号）

和歌山県農作物病害虫防除所

1. 病害虫名：果樹カメムシ類（チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシの新成虫）
2. 対象作物：カンキツ
3. 対象地域：県内全域
4. 発生量： 多
5. 加害期間：9月中旬～
6. 注意報発令の根拠

果樹カメムシ類については8月19日付けでカキ・ブドウ・キウイフルーツを対象に病害虫発生予察注意報（第2号）を発表したところであるが、その後も以下のとおり多発傾向が継続している。

- 1) 紀の川市粉河の予察灯における8月5・6半旬の誘殺数はチャバネアオカメムシが459頭（平年105頭）、ツヤアオカメムシが709頭（同20頭）であった（第1表）。
 - 2) 有田川町奥の予察灯における8月5・6半旬の誘殺数はチャバネアオカメムシが705頭、ツヤアオカメムシが382頭であった（第2表）。
 - 3) みなべ町東本庄の予察灯における8月5・6半旬の誘殺数はチャバネアオカメムシが2,475頭（過去4年の平均1,120頭）、ツヤアオカメムシが805頭（同496頭）であった（第3表）。
7. 防除上の注意事項
 - 1) 果樹カメムシ類の飛来量は園地間差が大きいので、飛来が確認された場合は速やかに薬剤による防除を実施する。
 - 2) 収穫時期の早い極早生温州で被害が大きいため発生に注意する。
 - 3) 台風通過後や強風後には、一時的に発生が多くなることもあるので注意する。
 - 4) 夜温が低下すると果樹園への飛来数は減少傾向となるが、昼間の気温が高いとカメムシ類の加害は続くので注意する。
 - 5) 予察灯による誘殺数の推移は、農業環境・鳥獣害対策室ウェブページ内農作物病害虫防除所コーナー（<http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/070300/071400/boujyosyo-yosatsujyouhou.html>）に掲載しているので参考にする。
 - 6) 農薬については、最新の登録情報（http://www.acis.famic.go.jp/index_kensaku.htm 農林水産消費安全技術センターホームページ 農薬登録情報提供システム）を参照し、適正に使用する。特に、収穫が近い園では収穫前日数に注意する。

担当：農作物病害虫防除所

有田川駐在 中、井沼 電話：0737-52-4320

第1表 紀の川市粉河における果樹カメムシ類の予察
灯誘殺消長(頭)

月	半旬	チャバネアオカメムシ		ツヤアオカメムシ	
		2014年	平年	2014年	平年
8	3	593	56	94	22
	4	294	70	82	15
	5	227	47	130	6
	6	232	58	579	14

光源:100W水銀灯

第2表 有田川町奥における果樹カメムシ類の予察
灯誘殺消長(2014年、頭)

月	半旬	チャバネアオカメムシ	ツヤアオカメムシ
8	3	819	39
	4	476	98
	5	401	168
	6	304	214

光源:100W水銀灯

第3表 みなべ町東本庄における果樹カメムシ類の予察灯誘殺消長
(頭)

月	半旬	チャバネアオカメムシ		ツヤアオカメムシ	
		2014年	過去4年の平均	2014年	過去4年の平均
8	3	935	207	49	170
	4	496	386	91	278
	5	887	504	150	221
	6	1588	616	655	275

光源:100W水銀灯